研究協力のお願い

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科大学

内科学Ⅰ教室

記

研究課題名：	EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対する第二世代および第三世代 EGFR-TKI の治療効果に関する後方視的研究
研究の目的：	<p>非小細胞肺癌の細胞の表面には EGFR と呼ばれるタンパク質がたくさん発現しており、この EGFR は癌細胞が増殖するのに必要な信号を細胞内に伝える役割を担っています。非小細胞肺癌の患者さんにおいて、この EGFR を構成している遺伝子の一部に変異が認められる患者さんがいることがわかってきました。EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌には EGFR チロシンキナーゼ阻害剤 (EGFR-TKI) が有効であり、第一世代から第三世代までが使用可能です。しかし第二世代と第三世代を直接比較した前向き試験の報告は無く、どちらが優れているかは明らかではありません。</p> <p>本研究の目的は、当院で EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌と診断し第二世代もしくは第三世代 EGFR-TKI で治療を行った症例について、各治療における生存期間などを比較し、いずれの治療が優れているのかを明らかにすることです。</p>
研究の意義：	<p>現在、毒性が比較的軽微で無増悪生存期間の長い第三世代 EGFR-TKI が一次治療で使用されることが多いですが、本研究の結果次第では第二世代 EGFR-TKI も一次治療の候補になり得ると考えます。</p>
研究の対象：	EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者さん
該当期間：	2014 年 1 月 1 日 ~ 2019 年 12 月 31 日

研究分担者	内科学I	講師	池田 宗一郎
	臨床研究センター	特別職務担当教員（教授）	藤阪 保仁
	内科学I	助教	今西 将史
	内科学I	助教	田村 洋輔
	内科学I	助教	中村 敬彦
	内科学I	助教(准)	松永 仁綜
	内科学I	助教(准)	辻 博行
	呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科	レジデント	満屋 奨
	呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科	レジデント	金岡 聖恵

本研究にて取得しました情報は、厳重な管理を行い、本研究以外の目的では利用いたしません。

対象者の方（その代理人）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本研究計画及び方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

ご自身の既存情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。申し出をされた場合は、本研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科大学 内科学I教室

（大阪医科大学附属病院

呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科）

担当者： 鶴岡 健二郎

T E L : 072-683-1221（代表）

内 線 : 6929